

厚生労働行政に係る環境保全のための施策

(1) 地球温暖化問題に対する取組

関連分野における温室効果ガス削減の推進

<p>1 目標</p>	<p>厚生労働省所管業種において自主行動計画を策定し、その業種の特성에応じた省CO₂対策を講ずる。</p> <p>【施策の柱】 定期的に厚生労働省環境自主行動計画フォローアップ会議を開催することで、各団体が作成した自主行動計画について、ヒアリングその他の方法により実施状況を調査した上で評価を行い、計画の着実な実施を図る。</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>平成24年1月24日に第5回会議を開催し、日本生活協同組合連合会、日本製薬団体連合会及び日本医師会・日本病院会・全日本病院協会・日本精神科病院協会・日本医療法人協会について、計画の実施状況をヒアリングして評価を行った。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>【生協】 目標は、売上高を原単位とした排出量につき、基準年度比4%減とすることであるが、2008年度は2.6%減、2009年度は2.9%減、2010年度は5.5%減であった。今後も積極的な取組を進めることにより、目標を達成できる可能性は十分にある。</p> <p>【製薬】 目標は排出量につき基準年度比マイナスとすることであるが、2008年度から大幅な減少が見られ、2009年度・2010年度と2年続けて目標を下回る結果となった。また、売上高を原単位とした排出量も、2008年度以降大幅に減少しており、温暖化対策の効果は着実に現れている。 しかし、活動規模が増えていくことが想定される業界であるため、今後の目標達成に向けたさらなる取組が期待される。</p> <p>【病院】 目標は延床面積を原単位とした排出量を前年度比1.0%減とすることであるが、2008年度は7.9%減、2009年度は1.1%減、2010年度は2.0%増となっており、約束期間の平均では目標が達成できている。今後も引き続き削減対策を進めることにより、目標を達成できると考えられる。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>それぞれの業種ごとに定めた自主行動計画の目標を達成するため、定期的にフォローアップを行っていく。</p>

水道施設における地球温暖化対策の推進

<p>1 目標</p>	<p>水道事業における電力消費量の削減を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：給水量当たりの電力使用量 ・目標値：水道施設における単位水量当たり電力使用量を 10 年間で 10%削減する。 <p>【施策の柱】</p> <p>エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和 54 年法律 49 号）の適切な運用。</p> <p>施設の更新期にあわせた環境保全対策に係る施設整備の推進。</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき、一定量以上の電力を使用する事業場はエネルギー使用量等の定期報告などが義務づけられているところである。給水量当たりの電力使用量は、平成 22 年度末で 0.503kWh / m³(平成 21 年度より給水量 1 m³当たり 0.007kWh の減少)</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>給水量 1 m³当たりの電力使用量は、ほぼ横ばいの傾向を示している。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>エネルギー使用の合理化に関する法律に基づく「特定事業者のうち上水道業、下水道業及び廃棄物処理業に属する事業の用に供する工場等を設置しているものによる中長期的な計画の作成のための指針」を平成 22 年 4 月に改定しており、引き続き、給水量当たりの電力使用の抑制に努めるよう指導等を行っていくこととする。</p>

時間外労働の削減等による温暖化の防止

<p>1 目標</p>	<p>時間外労働の削減・効率的な業務推進などで企業内での「働き方」の見直しにより、地球温暖化対策を推進する。 ・指標：所定外労働時間数(厚生労働省「毎月勤労統計調査」)</p> <p>【施策の柱】 所定外労働の削減 「ノー残業デー」の導入・拡充</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>「労働時間等見直しガイドライン」(労働時間等設定改善指針)について、労使の自主的な取組による所定外労働の削減を促すため、労使の関係団体等に対する周知・啓発を行った。</p> <p>労働時間等の設定改善に積極的に取り組む中小企業事業主やその団体に対する支援や助言・指導等を実施した。</p> <p>平成23年度の所定外労働時間数は年間144時間で前年度から変化はなかった。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>平成19年度から2年連続で所定外労働時間数は減少した後、金融危機からの景気回復の影響等により平成22年度は増加に転じ、平成23年度も同水準で推移しており、引き続き、一層の所定外労働の削減に向けた取組が必要である。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、労働時間等見直しガイドラインの周知・啓発等を図るとともに、業種、企業の特性に応じたきめ細かな支援の実施や、年次有給休暇の取得率が低い業種や恒常的な長時間労働の実態がみられる業種等への助成の重点化を図るなど、企業内での「働き方・休み方」の見直しを推進する。</p>

(2) 物質循環の確保と循環社会の構築に向けた取組

生活衛生関係事業者による環境配慮の取組みの推進

<p>1 目標</p>	<p>旅館・飲食・食肉関係事業者による食品循環資源の再生利用率の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：旅館・飲食・食肉関係事業者による食品環境資源の再生利用等による減量の割合(%) ・目標値：平成24年度に24.0%(対象：全事業所) <p>生活衛生関係事業者による自主的な環境配慮の取組を推進する。</p> <p>【施策の柱】</p> <p>計画的かつ効率的な「食品リサイクルシステム」の構築と推進に対する支援(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(平成12年法律第116号)の適正な運用)</p> <p>生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律(昭和32年法律第164号)に基づく「振興指針」の見直しの際に、随時環境配慮に関する事業内容をより積極的に位置づけ。</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>平成15年度に策定した「生活衛生関係事業者における再生利用事業実施のための指針(食品リサイクル指針)」の改訂作業を現在行っている。</p> <p>生衛業の各事業者は、多種多様な食品廃棄物が少量かつ分散して発生しており、平成23年度の再生利用実施率は13%(21年度は15%)にとどまっている。</p> <p>中小零細事業者を中心とする生衛業者が食品リサイクルへの取り組みをさらに推進するための方向性と取り組み内容を示す予定。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>平成15年度に策定した食品リサイクル指針では、都道府県生活衛生営業指導センターを中心に、食品関連事業者、再生利用事業者、特定肥飼料等の利用事業者の3者の連携による食品リサイクルが推進されるよう「食品リサイクル地域推進会議」を設置することで、生活衛生同業組合等が再生利用事業計画を策定する支援を行うこととした。</p> <p>しかし、推進会議が設置され業界が共同で効率的な食品リサイクル事業に取り組んだ事例は少ない。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>リサイクル指針の改定を行い、食品リサイクルの実施率の向上に努める。</p> <p>都道府県生活衛生営業指導センターや生活衛生同業組合が中心となって、行政の取組への協力、地域の取組の促進、個別の事業者への啓発普及を行い、地域における零細事業者である生衛業者が少しでも多くこの取組に参加する動きをするよう支援していきたい。</p>

医薬品・医療機器製造販売業者等による環境配慮の取組の推進

<p>1 目標</p>	<p>医薬品・医療機器製造販売業者等による容器包装等の再資源化の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：日本製薬団体連合会加盟企業の工場・事業所から発生する廃棄物の最終処分量 ・目標値：平成 27 年度で 10,300t（平成 12 年度比 35.0%） <p>医薬品製造販売業者等による自主的な環境配慮の取組を推進する。</p> <p>【施策の柱】</p> <p>容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(平成 7 年法律第 112 号)の適正な運用</p> <p>資源の有効な利用の促進に関する法律(平成 3 年法律第 48 号)の適正な運用</p> <p>密閉型蓄電池を使用する医薬品製造販売業者等に対する自主回収及び再資源化への支援(資源有効利用促進法に基づく主務大臣の認定)</p> <p>グリーン購入、環境報告書の作成・公表の促進等、環境に配慮した経営に向けた普及啓発</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>「1 目標」に掲げる法律の適正な運用について、逐次、事業者団体及び関係省庁と連携して、施策に取り組んだ。</p> <p>また、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会が主催する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」及びエコプロダクツ大賞推進協議会が主催する「エコプロダクツ大賞」に關係省庁と連携して参画し、医薬品製造販売業者等の 3 R 活動及びエコプロダクツの普及を支援している。</p> <p>なお、医薬品製造販売業者等の加盟団体の一つである日本製薬工業協会は自ら環境報告書を作成するとともに、協会加盟の医薬品製造販売業者等の工場・事業所から発生する廃棄物の最終処分量を平成 27 年度までに 35%まで削減(平成 12 年度比)すること等を目標としている。</p> <p>日本製薬団体連合会加盟企業の工場・事業所から発生する廃棄物の最終処分量は、平成 23 年度実績では 8,400t であり、28.6%まで削減(平成 12 年度比)しているが、更なる削減への取組が必要である。</p> <p>実績値は日本製薬団体連合会傘下の日本製薬工業協会、日本 OTC 医薬品協会及び日本ジェネリック製薬協会加盟企業の調査結果に基づいている。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>中小企業者である医薬品製造販売業者等の環境配慮における取組には遅れがみられることから、その推進に努める必要がある。</p>

4 今後の方向性
(見直しの方向性)

環境に配慮した率直的な取組例などを医薬品製造販売業者等に情報提供していくとともに、これら事業者の取組の進捗状況を把握していくことに努める。

医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設等における環境配慮の取組の推進

<p>1 目標</p>	<p>医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設等における環境対策関係法令の遵守を促す。 医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設等設置者による自主的な環境配慮の取組を推進する。</p> <p>【施策の柱】 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)の遵守 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)の遵守 グリーン購入、環境報告書の作成・公表の促進等、環境に配慮した経営に向けた普及啓発</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設に対して送付した、「厚生労働省における環境配慮の方針」(平成19年7月26日環境対策推進本部決定)にそって、環境に配慮した経営に向けた普及啓発を行ったところである。 「病院における省エネルギー実施要領」(平成20年3月)を定め、本実施要領を活用した省エネ等のエネルギー管理の取組について、病院関係団体に協力を依頼したところである。 「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」(平成16年法律第77号)における特定事業者に定められている厚生労働省所管の独立行政法人は、平成23年度に環境報告書を作成・公表したところである。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>「厚生労働省における環境配慮の方針」を医療施設、保健衛生施設、社会福祉施設に送付し、各施設における事業活動上の環境配慮の取組普及を依頼したことにより、環境配慮の意識も進みつつあるものと思われるが、各施設の所轄庁の大部分が都道府県等であるため、取組状況の実態把握が困難な状況である。 平成17年4月の環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律の施行から7年が経過し、事業者の環境配慮に対する意識はかなり高まってきていると思われるが、環境報告書の公表を行っているのが依然として大企業者が主であること等を鑑み、一層の意識高揚が必要と思われるため、環境配慮の状況の公表の方法に関する情報の提供等、事業活動における環境配慮の取組普及に努める必要がある。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き環境に配慮した率直的な取組例等を都道府県等に対して情報提供していくとともに、取組状況の実態に関して都道府県等からの情報提供を促す。 今後も積極的な情報提供等を通じて、継続的に普及、啓発活動に努める。</p>

厚生労働省所掌の事業者(独立行政法人,公益法人等)による自主的な環境配慮の取組の推進

<p>1 目標</p>	<p>厚生労働省所掌の事業者(独立行政法人、公益法人等)による自主的な環境配慮の取組を推進する。</p> <p>【施策の柱】 グリーン購入、環境報告書の作成・公表の促進等、環境に配慮した経営に向けた普及啓発</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>平成23年5月省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定「夏季の省エネルギー対策について」、平成23年11月同会議決定「冬季の省エネルギー対策について」等を周知し、環境に配慮した取組例などを情報提供し、これらの取組について、積極的に推進するよう要請している。</p> <p>環境配慮契約、グリーン購入及び環境報告書に関する周知することで、環境に配慮した取組を促している()。</p> <p>各職員に対して継続的にグリーン購入の意識を促すため、物品調達の際に提出する様式に、グリーン購入法適合の有無についてチェックする欄を設けている。</p> <p>ホームページにおいて、「環境物品等の調達の推進を図るための方針」、「環境物品等の調達実績の概要」及び「特定調達品目調達実績取りまとめ表」を毎年作成・公表している。</p> <p>法人の自主的な取組としては、以下のようなものもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用紙類の使用量の削減。 ・ 水栓には、節水コマを取り付ける。さらに、必要に応じ、水栓での水道水圧を低めに設定する ・ 毎月、光熱水量をとりまとめ、各部署の担当者による省エネプロジェクトや部長等会議に報告を行い、エネルギー使用の抑制に関する注意喚起を行っている。 ・ スイッチの適正管理による待機電力の削減、省エネモードの設定など、エネルギー使用量の抑制。 <p>(一部の法人に対して行っているものである。)</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>団体職員に対して環境配慮の重要性を啓発するなど、所管法人における環境配慮の取組も浸透してきているが、法人によって取組み具合にはばらつきがあるため、引き続き一層の取組推進を図っていく必要がある。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、所管法人に自主的な環境配慮の取組を促すとともに、その取組の進捗状況を把握していくこととする。</p>

(3) 都市における良好な大気環境の確保に関する取組

<p>1 目標</p>	<p>医療施設、社会福祉施設等における吹付けアスベスト等の使用実態調査や、アスベストの除去を推進する。</p> <p>【施策の柱】</p> <p>平成8年度以前に竣工した建築物に使用されている吹付けアスベスト、吹付けロックウール、吹付ひる石等で、含有するアスベストの重量が当該製品の重量の0.1%を超える建築物の使用実態把握</p> <p>アスベストが発見され、ばく露のおそれのある場所を有する社会福祉施設等に対して、直ちにアスベストの除去等法令に基づき適切な措置を講じるよう、都道府県等に対して指導を要請</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>病院における吹き付けアスベスト（石綿）等使用実態調査に係るフォローアップ調査の結果、石綿等の粉じんの飛散により、ばく露のおそれのある場所を有する病院は、前回調査の53病院から33病院に減少し、日常使用する場所を有する病院も2病院から0病院に減少した。</p> <p>社会福祉施設等については、平成22年11月に公表した吹付けアスベスト等の使用実態調査結果において、吹き付けアスベスト等を使用している施設が5,417施設、うち未措置状態の施設が16施設あった。</p> <p>調査結果を踏まえ、未措置状態の施設に対し、アスベストの除去等適切な措置を講ずるよう指導するとともに、アスベストの有無が判明していない分析依頼中の施設や未回答施設については、早期に調査を終了するよう指導。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>日常使用する場所を有する病院については、適切な措置により全て改善されたが、日常使用しない場所を有する病院が依然として33病院存在している。</p> <p>アスベストが判明した社会福祉施設等については、アスベストの除去等適切に行われている。なお、分析依頼中の施設や未回答施設については、早期に調査を終了し必要な措置を講ずるよう引き続き指導が必要。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>今後も、ばく露のおそれがある場所を有する病院については、速やかにアスベストの除去等法令に基づき適切な措置を講じるとともに、措置を講じるまでの間は、立入禁止、管理上立ち入る際には防塵マスクの着用義務化等ばく露を回避するための措置を徹底するよう、引き続き都道府県に対して指導を要請していくとともに、フォローアップ調査を継続し、全ての病院からアスベストが適切に措置されるよう確認していく。</p> <p>引き続き社会福祉施設等における吹付けアスベスト等の使用実態調査を実施し、アスベストの除去等について指導の徹底を図っていく。</p>

(4) 環境保全上健全な水循環の確保に向けた取組
健全な水循環系の構築

<p>1 目標</p>	<p>水道広域化、漏水対策、用途間転用等により、水資源の有効利用を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：有効率(%) (= 年間有効水量 / 年間給水量)) ・目標値：95% <p>流域関係者と連携し、取排水系統の再編等良好な水道水源の確保に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：原水良好度(有機物(TOC)の水道原水における水道水質基準達成率(%)) ・目標値：前年度以上 <p>所要の施設整備を行い、安心・快適な水道水を供給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：水道普及率(%) ・目標値：前年度以上 <p>【施策の柱】</p> <p>水道広域化、水道水源開発、未普及地域解消、老朽管布設替、高度浄水処理施設整備等に係る技術的・財政的支援措置 原水から給水までの統合的アプローチによる水道水質管理水準の向上</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>有効率、原水良好度及び水道普及率の向上のため、国庫補助事業等により、水道広域化施設・簡易水道等の整備、水道水源の確保、老朽管等の水道施設の計画的な更新等を行った結果、平成22年度末で、上水道事業の有効率は92.9%、原水良好度は96.8%、水道普及率は97.5%となった。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>前年度比で、有効率は0.1ポイント増加、水道普及率は増減無し、原水良好度0.3ポイント増加し、いずれも横ばいで推移している。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、有効率及び水道普及率の向上並びに良好な水道水源の確保に努めるよう指導等を行っていくこととする。</p> <p>引き続き、水道広域化施設・簡易水道等の整備、水道水源の確保、老朽管等の水道施設の計画的な更新等に対する国庫補助を行っていくこととする。</p>

水道施設における廃棄物・リサイクル対策の推進

<p>1 目標</p>	<p>浄水汚泥の有効利用を推進する。 ・指標：浄水発生土の有効利用率(%) ・目標値：100%</p> <hr/> <p>【施策の柱】 浄水汚泥の循環的利用の推進</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>水道事業者に対して、水道施設整備による浄水汚泥の有効利用の推進等に努めるよう助言を行っている。平成22年度末で、浄水汚泥の有効利用率は72%であった。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>浄水発生土の有効利用率は、3ポイント増加し、着実に向上している。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、水道事業者に対して、水道施設整備による浄水汚泥の有効利用の推進等に努めるよう指導等を行っていくこととする。</p>

(5) 化学物質の環境リスクの低減に向けた取組
環境リスクの評価・管理の推進

<p>1 目標</p>	<p>化学物質について、環境リスクの評価、管理等を推進する。 ・指標：規制物質数</p> <hr/> <p>【施策の柱】 有害性及びリスクの評価、管理等の実施(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(昭和48年法律第117号)の適正な運用) 既存化学物質の安全性点検の実施</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>優先評価化学物質の指定(95物質)等を実施し、平成24年4月1日現在で、第一種特定化学物質は28物質、第二種特定化学物質は23物質、監視化学物質は38物質、優先評価化学物質は95物質となった。 既存化学物質の安全性点検のため、新たに20物質について毒性試験を実施。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>人の健康を損なうおそれがある化学物質による環境の汚染の防止のため、優先的に安全性評価を行う必要があると認められる化学物質について優先評価化学物質に指定する等、化審法の適正な運用が行われた。 既存化学物質のうち、毒性情報を優先して収集すべきと考えられる物質について安全性点検等を実施した。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、環境リスクの評価、管理等を推進していくこととする。 ばく露が多いと考えられる既存化学物質等について、引き続き、安全性点検を実施する。</p>

化学物質リスク研究事業の推進

<p>1 目標</p>	<p>環境中化学物質のリスク研究事業を推進し、施策へ反映する。 ・指標：厚生労働科学研究における研究課題数</p> <p>【施策の柱】 化学物質の評価手法の迅速化・高度化・標準化 化学物質の子どもへの影響評価 ナノマテリアルのヒト健康影響評価手法の確立 室内空気汚染や家庭用品の安全対策</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>平成 23 年度は、厚生労働科学研究における化学物質リスク研究事業として 25 件の研究課題を実施した。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>以下について評価できる。 日本初の多くの新規試験法を国際化するため貢献したこと。 化学物質の子どもへの影響に係る知見が集積されたこと。 ナノ素材の生態影響評価手法の開発及び有害性情報が収集され、国際的にも貢献したこと。 家庭用品から放出される化学物質の生体ばく露評価を総合的に行ったこと 等。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、適切な研究課題を設定し、化学物質リスク研究事業を推進していくこととする。</p>

情報収集・提供体制の推進

<p>1 目標</p>	<p>化学物質に係る情報収集・提供体制を整備する。 ・指標：既存化学物質毒性データベース（JECDB）の登録状況 ・目標値：登録物質 295 件</p> <p>【施策の柱】 化学物質に係る各種データベースの整備、インターネット等を通じた情報の発信等</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>現在、JECDB 登録物質数は 296 件であり、登録物質数を増やすべく鋭意作業を進めている。現在は、従来の html ベースの情報提供に加え、pdf ファイルによる情報提供も行っている</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>化学物質の安全性情報については厚生労働省ホームページ等で情報提供してきているところだが、市場に流通している化学物質のうち、十分な情報提供がなされているものはまだ限られている。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、化学物質に係る情報の収集を行い、JECDB への登録を行うとともに、厚生労働省ホームページ等において情報提供することとしている。</p>

国際的な研究協力の推進

1 目標	<p>化学物質対策に係る国際的な研究協力を推進する。</p> <p>・指標：OECD への報告件数</p> <p>【施策の柱】</p> <p>OECD(経済協力開発機構)等の関係国際機関の活動への参画等</p>
2 進捗状況・実績	<p>平成 23 年度は OECD へ 8 物質を報告し、平成 17 年度から 23 年度末における、OECD の化学物質の安全性試験結果の報告件数(累計)は 43 物質、通算 148 物質となった。また、OECD 等の関係国際機関の活動に参画した(会議への参画、日本の方針の反映等)。</p>
3 評価・課題	<p>平成 23 年度は OECD へ 8 物質を報告する等、積極的に国際的な協力を推進した。</p>
4 今後の方向性(見直しの方向性)	<p>引き続き、化学物質対策に係る国際的な研究協力を推進する。</p>

(6) 生物多様性の保全のための取組

医薬品等分野における生物多様性の確保の推進

<p>1 目標</p>	<p>医薬品等分野において生物多様性の確保を図る。 ・指標：第一種使用等(開放系での使用等)に係る承認件数、 第二種使用等(閉鎖系での使用等)に係る確認件数</p> <p>【施策の柱】 遺伝子組換え生物等を使用した医薬品等の適正な製造等の確保(遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(平成15年法律第97号)の適正な運用)</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>医薬品等について、平成23年度内に新たに行われた第一種使用等に係る承認の件数は0件、第二種使用等に係る確認件数は13件であった。これにより同年度末における累計数は、第一種使用等に係る承認の件数1件、第二種使用等に係る確認の件数162件となった。</p> <p>平成23年度末の製造販売業者からの遺伝子組換え生物等を使用した医薬品等の製造状況に関する報告数は40件であった。</p> <p>(注)遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律に基づく第一種使用等に係る承認申請中又は第二種使用等に係る確認申請中に年度報告を提出している製造販売業者があること、第二種使用等に係る確認を要しない遺伝子組換え生物を使用する場合であっても年度報告の提出が必要となる場合があることなどから、上記の数字は必ずしも一致しない。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>医薬品等の分野において、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律の適正な運用が行われている。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、医薬品等の分野においても遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律に基づき、生物多様性の保全を図っていくこととする。</p>

里地里山の保全と持続可能な利用

<p>1 目標</p>	<p>農林業等における労働力の確保・育成により、里地里山の保全に資する森林や農耕地等の整備等を行い、もって生物の多様性を図る。 ・指標：林業事業体共同説明会参加者の就職率(%)</p> <p>【施策の柱】 林業等に関する職業講習会・就職ガイダンス等の実施 就農等支援コーナー等による求人情報の提供</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>林業等に関する職業講習会・就職ガイダンスを年10回、林業事業体共同説明会を年10回開催した。林業事業体説明会では参加者464人の就職相談を行い、就職率は13%であった。 農林漁業就職支援コーナーにおいて、20,598人に対し農林漁業への就業に関する相談を行った。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>林業に関する林業事業体共同説明会等の就職率については13%と一定の成果を見せていることから、生物多様性の保全のための取組として効果的であった。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、林業事業体共同説明会の開催等により、山村地域活性化を支援し、里地里山の保全を行うことにより、地域特有の生物の生育・生育環境の質を維持していくこととする。</p>

通常の経済活動主体としての厚生労働省の業務における環境配慮の取組

<p>1 目標</p>	<p>環境物品を活用することにより、環境への配慮を促進する。 ・指標：調達率 100%(95%)を達成した品目数の割合 ・目標値：100%</p> <hr/> <p>【施策の柱】 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達を図るための方針に基づくすべての取組の推進</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>毎年、「環境物品等の調達の推進を図るための方針」(厚生労働省グリーン調達推進本部決定。以下「調達方針」という。)を策定し、環境物品等の調達目標等を定めている。そして、毎会計年度終了後、環境物品等の調達の実績を取りまとめて公表するとともに、環境大臣へ通知している(平成23年度の実績は別紙のとおり。)</p> <p>環境物品等の特定調達物品(国及び独立行政法人等が重点的に調達を推進する際の判断基準を満たす物品)については、調達方針に基づき、エコマーク等の情報を活用することにより、できる限り環境負荷の少ない物品の調達に努めた。</p> <p>また、特定調達物品以外の物品等についても調達方針に準じて、エコマーク等の認定を受けている製品又はこれと同等の環境物品を調達するよう努めた。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>平成23年度の調達については、平成22年度と比べて調達率100%を達成した品目数及び全調達品目数に対する調達率100%を達成した品目数の割合いずれも平成22年度の実績を下回った。</p> <p>この主な要因としては、調達する物品等の機能や性能を優先させたためなどによるものである。</p> <p>今後についても、厚生労働省として国民サービスを低下させない範囲内において、グリーン購入法の趣旨に鑑み、引き続き可能な限り環境物品等の調達推進に一層努めることとする。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>引き続き、調達担当者に対してグリーン購入法の趣旨を徹底するとともに、直接、国民サービスに使用するもの以外については、原則、グリーン購入法の基準を満たすものとするよう指導等を行っていくことにより更に実績値の向上に努める。</p>

<p>1 目標</p>	<p>温室効果ガスの排出を抑制し、環境への配慮を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：温室効果ガスの総排出量削減割合(平成13年度比) ・目標値：平成22～24年度平均で13.2%の削減 <p>【施策の柱】</p> <p>地球温暖化対策の推進に関する法律(平成10年法律第117号)に基づく「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画」(政府実行計画)(平成19年3月30日閣議決定)に基づくすべての取組の推進</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>平成22年度の削減実績は、基準年度である平成13年度比で6.1%減となり、-13.2%の削減目標には及ばなかった。</p> <p>政府実行計画の目標期間となる平成22年度からは、「厚生労働省温室効果ガス削減対策実行委員会」毎月開催し、その中で、各施設に対し温室効果ガス排出量を毎月報告させ、進捗状況の評価を行った。</p> <p>実行委員会の中で、研究施設による報告や、労働局に対する実地調査の報告を行い、各施設の問題点や好事例の共有に努めた。</p>
<p>3 評価・課題</p>	<p>「厚生労働省温室効果ガス削減計画」では、平成22年度から平成24年度平均で平成13年度比-13.2%減を目標としているが、平成22年度は基準年度比より削減することができた。しかし、目標である-13.2%減は未達成であることから、今後さらなるソフト・ハード対策を強力に推進することにより、目標達成を図っていく必要がある。</p> <p>特に、温室効果ガス排出量の約8割が電気の使用によるものであることから、各施設の節電に係る一層の取組を図っていく必要がある。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>削減が見られない施設に対しては、毎月の実行委員会の中で注意喚起をすることで、取組の一層の強化を図っていく。</p>

<p>1 目標</p>	<p>仕事と生活の調和が取れた働き方の実現を通じて、職場としての環境負荷の低減に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標：「厚生労働省特定事業主行動計画」の年次休暇達成率(本省内部部局) ・目標値：年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇取得日数16日(80%)を目指す。 <p>【施策の柱】</p> <p>「厚生労働省特定事業主行動計画」に基づき、休暇計画表を配布し、休暇の取得を励行する。</p> <p>「早期退庁を促進するための具体的方策について」(平成14年8月早期退庁促進のための省内検討チーム)に基づいた「一斉定時退庁日」等の推進、「休暇作戦2per1」の促進。</p> <p>「年次休暇の取得促進について」(平成23年1月大臣官房人事課長通知)に基づいた「指定休暇」・「節目休暇」の実施により年次休暇取得を働きかける。</p>
<p>2 進捗状況・実績</p>	<p>「休暇作戦2per1」()</p> <p>各部局の年次休暇の取得実績を幹部懇談会に報告し、取得促進の働きかけを行った。</p> <p>() 毎月合計2日の年次休暇の取得を目標とし、毎月1日は必ず達成すべきものとして平成17年12月から実施している取組</p> <p>「指定休暇」及び「節目休暇」の設定</p> <p>年次休暇の取得をより強力に促進するため、平成23年2月より、年次休暇の取得予定日を事前に指定する「指定休暇」と、勤続期間が満5年に達した以降5年ごとに職員が年次休暇等を組み合わせて連続する1週間以上の休暇等を取得する「節目休暇」を設定した。</p> <p>このほか、次の取組などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会待機について、極力必要最小限の人数で対応するよう努めた。 ・局内各課において消灯日を定め、職員の早期退庁を促した。
<p>3 評価・課題</p>	<p>休暇取得率の向上については、「休暇作戦2per1」、「指定休暇」及び「節目休暇」の設定により、その取組意識が向上し一定の効果を上げつつあると認められるが、より一層の向上が必要である。</p> <p>早期退庁を実施するに当たり、国会審議等の他律的な要素もあり、十分な効果を上げることが難しい面がある。特に国会期間中は超過勤務時間が長くなる傾向がある。</p>
<p>4 今後の方向性 (見直しの方向性)</p>	<p>休暇取得率の向上は、平成16年4月から実行している厚生労働省特定事業主行動計画における取組の一環でもあるが、いずれも、特に管理者の意識を高めた上で推進、定着させることが重要であり、今後とも、この点を十分に踏まえ、積極的に取り組んでいくこととする。</p>

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	自動計算		自動計算		自動計算		自動計算		自動計算		⑩ 備考
				③ 特定調達物品等の調達量	④ 特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	⑥ 調達量	⑦ 具体的仕様 ⑧ 環境への配慮の内容	⑨ 調達量	⑪ 環境への配慮の内容				
紙類	(7) コピー用紙	100%	5,087,085 kg	5,077,990 kg	100%	100%	417,662 kg	古紙ハイブ配合の再生紙を利用	1,025,448 kg	9,095 kg				
	フォーム用紙	100%	4,608 kg	4,608 kg	100%	100%	51 kg	古紙ハイブ配合の再生紙を利用	3,939 kg	0 kg				
	インクジェットカラープリンター用塗工紙	100%	77 kg	74 kg	96%	96%	28 kg	古紙配合率70%以上である	7 kg	3 kg	A4 光沢紙 厚手			
	塗工されていない印刷用紙	100%	200,687 kg	187,906 kg	94%	94%	1,361 kg	古紙ハイブ配合率100%、包装紙の紙	16,926 kg	12,781 kg	カラーペーパー 上質紙			
	塗工されている印刷用紙	100%	66,426 kg	63,961 kg	96%	96%	3,687 kg	包装紙の再生利用が容易	680 kg	2,466 kg	厚口光沢紙カラーペーパー FSC認証紙			
	トレイレットペーパー	100%	157,761 kg	156,893 kg	99%	99%	15,418 kg	古紙ハイブ配合率100%、紙包装	21,864 kg	868 kg	トレックス シングル120-8416袋		機能・性質上の必要性	
	ティッシュペーパー	100%	6,619 kg	5,985 kg	90%	90%	1,549 kg	簡易包装	460 kg	634 kg	3層3折 100%再生紙(100%再生紙)100%		箱とフィルム部がリサイクル製品 機能・性質上の必要性	
	シャープペンシル	100%	28,034 本	28,034 本	100%	100%	1,918 本	プラスチック再利用	0 本	0 本				
	シャープペンシル替芯	100%	20,611 個	20,611 個	100%	100%	988 個	容器が再生プラスチック82%使用	0 個	0 個				
	文具類	ボールペン	100%	142,606 本	142,547 本	100%	100%	15,544 本	プラスチック再利用	0 本	59 本	水性ボールペン 23mm 芯		芯が交換できること
マーキングペン		100%	156,446 本	156,420 本	100%	100%	14,639 本	再生プラスチック100%、芯が交換できる	0 本	26 本	ボス力線筆 水性顔料系インキ 黒		芯が交換できること	
鉛筆		100%	118,552 本	118,300 本	100%	100%	11,769 本	素材100%使用	5,106 本	252 本	色鉛筆 三菱鉛筆		機能・性質上の必要性	
スタンプ台		100%	7,390 個	7,390 個	100%	100%	1,113 個	リサイクル素材(再生紙)100%、再生プラスチック、インキが環境にやさしい	0 個	0 個				
朱肉		100%	5,240 個	4,976 個	95%	95%	733 個	パッケージは資源100%配合率90%、表面の検閲ができる	0 個	264 個	三菱鉛筆 HLSシリーズ		機能・性質上の必要性	
印章セット		100%	87 個	87 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個				
印箱		100%	115 個	115 個	100%	100%	9 個	再生プラスチック製品	1 個	0 個				
公印		100%	66 個	65 個	98%	98%	6 個	再生プラスチック使用、簡易包装	1 個	1 個	黒水牛		機能・性能上の必要性	
ゴム印		100%	105,790 個	104,190 個	98%	98%	7,953 個	塩化ビニルを使用していない	1,931 個	1,600 個	黒色 20mm x 10mm x 5mm (標準)		価格を優先させたため	
回転ゴム印		100%	5,319 個	5,313 個	100%	100%	672 個	塩化ビニルを使用していない	0 個	6 個	受取印等		価格を優先させたため	
定規		100%	5,618 個	5,618 個	100%	100%	520 個	再生PET樹脂製	0 個	0 個				
トレイ		100%	5,742 個	5,737 個	100%	100%	622 個	再生プラスチック100%使用	0 個	5 個	スタッキングトレイ		価格を優先させたため	
消しゴム		100%	44,294 個	44,282 個	100%	100%	3,213 個	スリーブが再生紙	0 個	12 個	シード 砂消し		機能性を重視したため	
ステープラー(汎用型)		100%	10,056 個	9,074 個	90%	90%	491 個	紙巻は古紙ハイブ配合率80%使用	0 個	982 個	マックス針 10号		調達できなかったため	
ステープラー(汎用型以外)		100%	213 個	209 個	98%	98%	9 個	分離廃棄が容易	0 個	4 個	マックス 10号 標準用(マックス)針用		調達できなかったため機能・性能上の必要性	
ステープラー(針リムーバー)		100%	8,538 個	8,538 個	100%	100%	4,345 個	分離廃棄が容易	0 個	0 個				
連射式クリップ(本体)		100%	1,975 個	1,975 個	100%	100%	75 個	再生プラスチック製品、簡易包装	0 個	0 個				
事務用修正具(テープ)		100%	20,669 個	20,647 個	100%	100%	2,333 個	交換用があるものを購入	123 個	22 個			機能・性能上の必要性	
事務用修正具(液状)		100%	2,139 個	2,109 個	99%	99%	174 個	簡易包装、再生PE樹脂使用	0 個	30 個				
クラフトテープ		100%	9,087 個	8,987 個	99%	99%	722 個	紙心が再生紙利用	334 個	100 個	グリーンマーク巻芯		調達できなかったため	
粘着テープ(布粘着)		100%	14,308 個	14,154 個	99%	99%	1,654 個	再生PET繊維使用	142 個	154 個	再生PET布テープ B012J		価格を優先させたため	
両面粘着紙テープ		100%	7,653 個	7,596 個	99%	99%	1,644 個	再生プラスチック40%以上、簡易包装	292 個	57 個	ニチバン 超強力両面テープ			
製本テープ		100%	18,951 個	18,933 個	100%	100%	4,770 個	再生材使用、古紙配合率40%以上	338 個	18 個	製本機用		価格を優先させたため	
ブックスタンド		100%	3,792 個	3,673 個	97%	97%	339 個	簡易包装、再生プラスチック70%以上	0 個	119 個	金属製		プラスチック製では耐久性に欠けるため	
ペンスタンド		100%	195 個	195 個	100%	100%	9 個	再生プラスチック40%以上、簡易包装	0 個	0 個				
クリップケース		100%	151 個	145 個	96%	96%	1 個	再生プラスチック40%以上	0 個	6 個	ゼムクリップ大200本収納		機能・性能上の必要性	
はさみ		100%	3,578 個	3,579 個	100%	100%	341 個	分別廃棄が容易	0 個	0 個				
マグネット(玉)		100%	6,408 個	5,111 個	80%	80%	614 個	簡易包装、磁石以外再生プラスチック	0 個	1,297 個	カラーマグネット B139A大型(小)		調達できなかったため価格を優先させたため	
マグネット(バー)		100%	5,001 個	4,827 個	97%	97%	522 個	簡易包装、磁石以外再生プラスチック	0 個	174 個			価格を優先させたため	
テープカッター		100%	261 個	261 個	100%	100%	16 個	再生プラスチック製品、簡易包装	0 個	0 個				
ハンチ(手動)		100%	945 個	942 個	100%	100%	37 個	再生プラスチック製品、簡易包装	0 個	3 個	マックスDP-15N コンパクトサイズ		機能・性能上の必要性	
モルトケース(紙めくり用スポンジケース)		100%	25 個	25 個	100%	100%	3 個		0 個	0 個				
紙めくりクリーム		100%	1,767 個	1,767 個	100%	100%	159 個	簡易包装、容器は再生プラスチック	0 個	0 個				
鉛筆削(手動)		100%	106 個	103 個	97%	97%	4 個	簡易包装、分別廃棄が容易	0 個	3 個	卓上型		価格を優先させたため	
OAクリーナー(ウエットタイプ)		100%	9,401 個	9,401 個	100%	100%	1,018 個	再生プラスチック製品、内容物補充可能	0 個	0 個				
OAクリーナー(液タイプ)		100%	367 個	367 個	100%	100%	8 個	内容物の補充可能	0 個	0 個				
ダストブロー		100%	658 個	618 個	94%	94%	67 個	代替振動フロン不使用、簡易包装	0 個	40 個			機能・性能上の必要性	
レターケース		100%	331 個	331 個	100%	100%	30 個	簡易包装、再生プラスチック使用	0 個	0 個				
メディアケース(FD・CD・MO用)		100%	2,046 個	2,046 個	100%	100%	150 個	簡易包装	0 個	0 個				
マウスパッド		100%	2,212 個	2,191 個	99%	99%	192 個	再生樹脂使用	0 個	21 個	エレコム MP-9010(再生紙)再生紙マウスパッド		価格を優先させたため	
OAフィルター(枠あり)		100%	70 個	70 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個				
丸刃式紙裁断機		100%	46 台	46 台	100%	100%	1 台	簡易包装、再生利用可能	0 台	0 台				
カッターナイフ		100%	2,702 個	2,702 個	100%	100%	319 個	簡易包装、再生樹脂使用	0 個	0 個				
カッチングマット		100%	213 個	213 個	100%	100%	8 個	簡易包装、両面使用可能	0 個	0 個				
デスクマット		100%	2,694 個	2,581 個	96%	96%	466 個	簡易包装、再生利用が容易、再生プラスチック	0 個	113 個	オカムラ 厚さ20mm x 60cm x 90cm 黒色 両面使用型		マットのため長期間の使用可能	
OHPフィルム		100%	134 個	134 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個				
絵筆		100%	323 個	323 個	100%	100%	6 個	再生プラスチック使用	0 個	0 個				
絵の具		100%	207 個	207 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個				
墨汁		100%	51 個	51 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個				
のり(液状)(補充用を含む。)		100%	6,197 個	6,197 個	100%	100%	662 個	補充用があるもの購入	0 個	0 個				
のり(澱粉のり)(補充用を含む。)	100%	473 個	473 個	100%	100%	10 個	補充用があるもの購入	0 個	0 個					
のり(固形)	100%	37,123 個	37,123 個	100%	100%	2,767 個	補充用があるもの購入	0 個	0 個					

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合 ⑥ 調達量 ③の内数	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の調達量	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑬ 備考		
										⑨ 調達量	⑩ 具体的仕様の主要例	⑪ 主な理由			
														⑫ 環境への配慮の内容	
	のり(テープ)	100%	26,575 個	26,575 個	100%	100%	4,612 個	補充用があるものを購入	0 個						
	ファイル	100%	1,141,460 冊	1,135,139 冊	99%	99%	72,460 冊	同じ具の分別廃棄が可能	213,405 冊	6,321 冊			事務で使用する際、個人情報保護の観点から必要であったため		
	バインダー	100%	38,005 冊	38,005 冊	100%	100%	998 冊	同じ具の分別廃棄が可能	265 冊	0 冊					
	ファイリング用品	100%	156,522 冊	156,522 冊	100%	100%	27,057 冊	再生紙使用	6,429 冊	0 冊					
	アルバム	100%	120 個	120 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個					
	つづりひも	100%	201,365 個	198,156 個	98%	98%	3,432 個	箱が再生紙	1 個	3,209 個	つづりひも B199J,700mm		価格を優先させたため・機能・性能上の必要性		
	カードケース	100%	14,608 個	14,376 個	98%	98%	456 個	再生プラスチック40%以上、簡易包装	0 個	232 個			機能・性能上の必要性		
	事務用封筒(紙製)	100%	17,935,563 枚	17,173,063 枚	96%	96%	1,192,689 枚	古紙ハイク配合の再生紙を利用	4,195,879 枚	762,500 枚			価格を優先させたため・機能・性能上の必要性		
	窓付き封筒(紙製)	100%	1,408,918 枚	1,388,918 枚	99%	99%	136,250 枚	古紙ハイク配合率40%以上、簡易包装	730,400 枚	20,000 枚	内容物が透けないこと		機能・性能上の必要性		
	けい紙・起業用紙	100%	2,239 個	2,239 個	100%	100%	362 個	古紙ハイク配合率100%	843 個	0 個					
	ノート	100%	54,019 冊	53,613 冊	99%	99%	952 冊	再生紙を使用	40,582 冊	406 冊	プラス ノートボックスハイクとじ		機能・性能上の必要性		
	タックラベル	100%	90,686 個	89,376 個	99%	99%	503 個	古紙ハイク配合率70%以上、水溶性	56,816 個	1,310 個			再生可能なはくり紙使用		
	インデックス	100%	208,108 冊	207,491 冊	99%	100%	8,880 冊	古紙ハイク配合の再生紙を利用	14,972 冊	617 冊					
	パンチラベル	100%	19,197 冊	19,046 冊	99%	99%	6,325 冊	古紙ハイク配合率70%以上、水溶性	1,762 冊	151 冊					
	付箋紙	100%	318,759 冊	318,739 冊	100%	100%	37,061 冊	古紙ハイク配合の再生紙を利用	45,272 冊	20 冊	3M 混色タイプ等		機能・性能上の必要性		
	付箋フィルム	100%	4,711 冊	4,711 冊	100%	100%	211 冊	再生プラスチック製品、水分散性粘着剤	0 冊	0 冊					
	黒板拭き	100%	16 個	16 個	100%	100%	0 個		0 個	0 個					
	ホワイトボード用イレーザー	100%	904 個	904 個	100%	100%	53 個	再生プラスチック製品、簡易包装	0 個	0 個					
	額縁	100%	409 冊	389 冊	95%	95%	11 冊	再生プラスチック製品、簡易包装	0 冊	20 冊	四市		機能・性能上の必要性		
	ごみ箱	100%	565 冊	565 冊	100%	100%	31 冊	再生プラスチック製品、簡易包装	0 冊	0 冊					
	リサイクルボックス	100%	45 冊	43 冊	96%	96%	0 冊		0 冊	2 冊	400半透明		機能・性能上の必要性		
	缶・ボトルつぶし機(手動)	100%	0 冊	0 冊			0 冊		0 冊	0 冊					
	名札(机上用)	100%	304 冊	304 冊	100%	100%	20 冊	再生プラスチック使用	0 冊	0 冊					
	名札(衣服取付型・首下げ型)	100%	13,284 冊	13,284 冊	100%	100%	1,912 冊	簡易包装、再生プラスチック使用、	0 冊	0 冊					
	鍵かけ(フックを含む)	100%	48 冊	48 冊	100%	100%	0 冊		0 冊	0 冊					
	チョーク	100%	736 本	736 本	100%	100%	0 本		0 本	0 本					
	グラウンド用白線	100%	20 kg	20 kg	100%	100%	0 kg		0 kg	0 kg					
	梱包用バンド	100%	235 冊	235 冊	100%	100%	15 冊	再生プラスチック製品	0 冊	0 冊					
	オフィス家具等(10)	いす	100%	6,856 脚	6,776 脚	99%	99%	892 脚	修理及び部品交換が容易、長期使用可能、簡易包装	503 脚	80 脚	耐なしキヌスター付トヨタセット製		価格を優先させたため	
		机	100%	2,644 台	2,579 台	98%	98%	301 台	修理及び部品交換が容易、長期使用可能、簡易包装	209 台	65 台	キヌスター付インサイドワゴン		価格を優先させたため	
		棚	100%	2,567 連	2,453 連	96%	96%	386 連	修理及び部品交換が容易、長期使用可能、再生材使用	627 連	114 連	WS220192H4338 粘土作品乾燥機		機能・性能上の必要性	
		収納用什器(棚以外)	100%	6,515 台	6,495 台	100%	100%	3,633 台	修理及び部品交換が容易、長期使用可能、簡易包装	135 台	20 台	オープン型棚005了合棚用ヤシキヤ			
		ローパーティション	100%	2,893 台	2,879 台	100%	100%	242 台	修理及び部品交換が容易、長期使用可能、簡易包装	25 台	14 台	W1030H1665		機能・性能上の必要性	
コートハンガー		100%	15 台	15 台	100%	100%	0 台		0 台	0 台					
傘立て		100%	92 台	91 台	99%	99%	2 台	簡易包装、長期使用可能	3 台	1 台	10本収納φ230		価格を優先させたため		
掲示板		100%	237 冊	232 冊	98%	98%	29 冊	簡易包装、修理体制が整っている	5 冊	5 冊	ピンマグネット可 駐車場看板		機能・性能上の必要性		
黒板		100%	1 冊	1 冊	100%	100%	0 冊		0 冊	0 冊					
ホワイトボード		100%	138 冊	135 冊	98%	98%	26 冊	再利用が可能な設計	6 冊	3 冊					
OA機器(19)		コピー機等	コピー機等合計	購入	626 台	625 台	99%	99%	52 台			1 台			
				リース・レンタル(新規)	178 台	174 台			32 台			4 台			
				リース・レンタル(継続)	265 台	265 台						0 台			
			コピー機	購入	113 台	113 台			17 台	再生紙対応可能、節電タイプ			0 台		
				リース・レンタル(新規)	133 台	131 台			13 台	再生紙対応可能、節電タイプ			2 台	シャープ AR-310M	
	リース・レンタル(継続)			109 台	109 台							0 台			
	複合機		購入	498 台	497 台			35 台	再生利用のための工夫がなされている			1 台			価格を優先させたため
			リース・レンタル(新規)	45 台	43 台			19 台	機能の簡素化・再生素材使用			2 台			価格を優先させたため
			リース・レンタル(継続)	156 台	156 台							0 台			
	拡張性デジタルコピー機	購入	15 台	15 台			0 台				0 台				
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			0 台				0 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台							0 台				
	電子計算機	電子計算機合計	購入	3,322 台	3,297 台	99%	99%	327 台				5 台			
			リース・レンタル(新規)	572 台	563 台			56 台				0 台			
			リース・レンタル(継続)	721 台	698 台							23 台			
サーバ型		購入	69 台	69 台			1 台	節電タイプ			0 台				
		リース・レンタル(新規)	1 台	1 台			0 台				0 台				
		リース・レンタル(継続)	76 台	76 台							0 台				
		購入	719 台	719 台			173 台				0 台				
		リース・レンタル(新規)	126 台	126 台			0 台				0 台				
		リース・レンタル(継続)	321 台	306 台							15 台	FMVD7BF010		機能・性能上の必要性	
		購入	2,372 台	2,372 台			192 台	節電タイプ			0 台				
リース・レンタル(新規)	445 台	445 台			56 台	機能の簡素化・再生素材使用			0 台						
リース・レンタル(継続)	275 台	267 台							8 台	PCAE3BJ7		機能・性能上の必要性			
クライアント型(その他の電子計算機)	購入	162 台	157 台			2 台	節電タイプ			5 台	タブレット端末		適合した商品が調達できなかったため		
	リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			0 台				0 台					
リース・レンタル(継続)	49 台	49 台							0 台						

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑬ 備考
							⑥ 調達量 ③の内数	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の調達量	⑨ 調達量	⑩ 具体的仕様の主な例	
プリンタ等	プリンタ等合計	購入	694台	693台	100%	100%	106台		0台			
		リース・レンタル(新規)	49台	49台			0台		0台			
		リース・レンタル(継続)	105台	105台			0台		0台			
	プリンタ	購入	678台	678台			93台		0台			
		リース・レンタル(新規)	49台	49台			0台		0台			
		リース・レンタル(継続)	101台	101台			0台		0台			
	プリンタ/ファクシミリ兼用機	購入	16台	16台			0台		0台			
		リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台			
	リース・レンタル(継続)	4台	4台			0台		0台				
		購入	85台	85台	100%	100%	7台	再生紙対応、節電タイプ	0台			
	リース・レンタル(新規)	9台	9台			0台		0台				
		リース・レンタル(継続)	43台	43台			0台		0台			
	スキャナ	購入	98台	98台	100%	100%	11台	標準消費電力量の基準以下。	0台			
		リース・レンタル(新規)	1台	1台			0台		0台			
		リース・レンタル(継続)	2台	2台			0台		0台			
	磁気ディスク装置	購入	160台	158台	99%	99%	37台	標準消費電力量の基準以下。	2台	10TB	価格を優先させたため	
		リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台			
		リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台			
	ディスプレイ	購入	253台	249台	98%	98%	15台	エネルギー消費効率が基準以内	4台	プリンステクノロジー製	競争性を確保したため	
		リース・レンタル(新規)	1台	0台			0台		1台	LCDAS191WM-C-W	価格を優先させたため	
リース・レンタル(継続)		23台	11台			0台		12台		機能・性能上の必要性		
シュレッダー	購入	232台	232台	100%	100%	28台	節電タイプ	0台				
	リース・レンタル(新規)	9台	9台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
デジタル印刷機	購入	214台	214台	100%	100%	8台	再生紙対応可能、節電タイプ	0台				
	リース・レンタル(新規)	1,431台	1,431台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	3台	3台			0台		0台				
記録用メディア	100%	19,548個	19,499個	100%	100%	1,258個	再生素材使用	185個	49個	DVD-RAM等	使用している機種に適合させるため	
一次電池又は小形充電式電池	100%	45,390個	45,356個	100%	100%	2,777個	エコマーク商品	34個	単3型 充電式	充電式	価格を優先させたため	
	一次電池のうち防災備蓄用品として調達したもの	1,773個	1,773個	100%	100%	0個		0個				
電子式卓上計算機	100%	2,622個	2,594個	99%	99%	89個	太陽電池仕様	28個	ジョイントテックスK041J		価格を優先させたため	
トナーカートリッジ	100%	151,515個	138,673個	92%	92%	5,895個	再トナー仕様・トナー回収	12,842個				
インクカートリッジ	100%	25,865個	24,514個	95%	95%	2,738個	再トナー仕様・トナー回収	1,351個				
掛時計	100%	166個	161個	97%	97%	26個	簡易包装、長期間使用可能	5個	壁掛け時計、チャイム付		機能・性能上の必要性	
プロジェクタ	購入	47台	47台	100%	100%	11台	簡易包装	0台				
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	10台	10台			0台		0台				
携帯電話	購入	53台	53台	100%	100%	6台	地球温暖化防止取り組み、環境配慮型設計	0台				
	リース・レンタル(新規)	157台	157台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	49台	49台			0台		0台				
PHS	購入	228台	228台	100%	100%	0台		0台				
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	48台	48台			0台		0台				
電気冷蔵庫・冷凍庫・冷凍冷蔵庫	購入	141台	141台	100%	100%	27台	ノンフロン冷媒使用、地球温暖化係数が小さい	0台				
	リース・レンタル(新規)	4台	4台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
テレビジョン受信機	購入	224台	221台	99%	99%	7台	省電力型	3台	32インチ、40インチ、52インチ		調達できなかったため	
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
電気便座	購入	49台	49台	100%	100%	0台		0台				
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
電子レンジ	購入	36台	36台	100%	100%	14台	標準消費電力量の基準以下。	0台				
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
エアコンディショナー等	購入	206台	206台	100%	100%	27台	再生利用可能な設計	0台				
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
ガスヒートポンプ式冷暖房機	購入	16台	16台	100%	100%	0台		0台				
	リース・レンタル(新規)	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				
ストーブ	購入	83台	81台	98%	98%	4台	再生プラスチックが可能な限り使用されている	2台			節電のため石油ストーブを使用	
	リース・レンタル(新規)	1台	1台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)	0台	0台			0台		0台				

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑬ 備考	
							⑥ 調達量 ③の内数	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の調達量	⑨ 調達量	⑩ 具体的仕様の主な例		⑫ 主な理由
温 水 器 等 (4)	ヒートポンプ式電気給湯器	購入	0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台			0 台		0 台				
	ガス温水機器	購入	16 台	16 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台			0 台		0 台				
	石油温水機器	購入	0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台			0 台		0 台				
	ガス調理機器	購入	10 台	10 台	100 %	100 %	1 台	二六部基準エネルギー消費効率 51.4%	0 台				
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台			0 台		0 台				
照 明 (5)	蛍光灯照明器具	施設用	1,694 台	1,693 台			108 台	省エネ電力	1 台	NEC FL10D	機能・性質上の必要性		
		家庭用	0 台	0 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		卓上スタンド用	62 台	61 台			43 台	簡易包装	1 台		機能・性質上の必要性		
	LED照明器具	100 %	5,970 台	5,903 台	99 %	99 %	400 台	省エネ、CO2削減効果あり	67 台	卓上型	調達できなかったため		
	LEDを光源とした内照式表示灯	100 %	182 台	182 台	100 %	100 %	93 台	省エネ、CO3削減効果あり	0 台				
	蛍光ランプ	高周波点灯専用形(HF)	3,835 本	3,835 本	97 %	97 %							
		ピントスタート形又はスタータ形	16,428 本	15,787 本			2,118 本	簡易包装、消費効率基準以上	641 本	直管・ピントスタート型 一般型 40W	なし	調達できなかったため	
	電球形状のランプ	LEDランプ	749 個	749 個	91 %	91 %	37 個	基準エネルギー消費効率	0 個				
		上記以外の電球形状ランプ	1,118 個	953 個			53 個	二六部基準エネルギー消費効率は、ランプ容量で40、60、75W以上である。電球形状のランプにおいては、光源材入量は製品容量の10%	165 個	パルクライト Hタイプ 80A180W/82		設備的に対応出来ないため	
	自 動 車 等 (5)	電気自動車	購入	0 台	0 台	100 %							
			リース・レンタル(新規)	26 台	26 台								
			リース・レンタル(継続)	0 台	0 台								
天然ガス自動車		購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台									
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台									
メタノール自動車		購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台									
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台									
ハイブリッド自動車		購入	2 台	9 台	100 %	450 %							
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台									
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台									
プラグインハイブリッド自動車		購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台									
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台									
燃料電池自動車		購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台									
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台									
水素自動車		購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)	0 台	0 台									
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台									
用 車		ガソリン車(H17年低排出75%低減かつ燃費基準達成)	購入	6 台	75 台	100 %	41633 %						
			リース・レンタル(新規)		2,423 台	2,423 台							
			リース・レンタル(継続)		536 台	536 台							
	LPガス車(H17年低排出75%低減かつ燃費基準達成)	購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)		0 台	0 台								
		リース・レンタル(継続)		0 台	0 台								
	ディーゼル車(H21年排ガス規制適合かつH27年度燃費基準達成)	購入	0 台	0 台									
		リース・レンタル(新規)		0 台	0 台								
		リース・レンタル(継続)		0 台	0 台								
	その他	購入		0 台	0 台				0 台				
リース・レンタル(新規)			8 台	0 台				8 台	マツダ スピアード・ホンダ ライフ		調達できなかったため		
リース・レンタル(継続)			0 台	0 台				0 台					

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑬ 備考		
							⑥ 調達量 ③の内数	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の調達量	⑨ 調達量	⑩ 具体的仕様の主な例		⑪ 環境への配慮の内容	⑫ 主な理由
一般	電気自動車	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	天然ガス自動車	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	メタノール自動車	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	ハイブリッド自動車	購入	7台	1台	1台	100%	14%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	プラグインハイブリッド自動車	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	燃料電池自動車	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	水素自動車	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
リース・レンタル(継続)			0台	0台										
低燃費かつ低排出ガス自動車	ガソリン車(H17年低排出75%低減かつ燃費基準達成)	購入	60台	7台	7台	100%	12%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	LPガス車(H17年低排出75%低減かつ燃費基準達成)	購入	0台	0台	0台	%	%							
		リース・レンタル(新規)		0台	0台									
		リース・レンタル(継続)		0台	0台									
ガソリン車(H17年低排出50%低減かつ燃費基準達成)	購入	0台	3台	3台	100%	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台										
	リース・レンタル(継続)		0台	0台										
LPガス車(H17年低排出50%低減かつ燃費基準達成)	購入	0台	0台	0台	%	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台										
	リース・レンタル(継続)		0台	0台										
ディーゼル車(H21年排出ガス規制適合かつH27年度燃費基準達成)	購入	0台	0台	0台	%	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台										
	リース・レンタル(継続)		0台	0台										
その他	購入		0台	0						0台				
	リース・レンタル(新規)		0台	0						0台				
	リース・レンタル(継続)		0台	0						0台				
ETC対応車載器		27個	41個	41個	100%	152%								
カーナビゲーションシステム		64個	115個	115個	100%	156%	1個	長寿命化に配慮		0個				
乗用車用タイヤ		100%	1,020本	1,020本	100%	100%	52本	走行時の静粛性		0本				
2サイクルエンジン油		100%	90ℓ	90ℓ	100%	100%	1ℓ			0ℓ				
消火器 (1)	(1) 消火器	100%	671本	671本	100%	100%	74本	簡易包装、再生材料使用		0本				
制服・作業服 (3)	制服	100%	3,336着	3,336着	100%	100%	754着	再生素材使用		0着				
	作業服	100%	5,097着	5,097着	100%	100%	491着	再生素材使用		0着				
	帽子	100%	88点	88点	100%	100%	12点	再生素材使用		0点				
	カーテン	100%	298枚	284枚	95%	95%	136枚	再生PET樹脂配合回収システム		14枚	防炎遮光カーテン	機能・性質上の必要性		
インテリア・装飾器具 (10)	布製ブラインド	100%	8枚	8枚	100%	100%	5枚	再生PET樹脂配合		0枚				
	タフテッドカーペット	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡			0㎡				
	タイルカーペット	100%	2,669㎡	2,669㎡	100%	100%	374㎡	再生素材使用		0㎡				
	織じゅうたん	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡			0㎡				
	ニードルパンチカーペット	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡			0㎡				

分野	品目	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の 調達量	④ 特定調達物品等 の調達率 =③/②	⑤ 目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合 ⑥ 調達量 ③の内数	⑦ 具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧ 材料に紙、木質が含まれる場合で原料となる原木の合法性が証明された物品等の 調達量	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑬ 備考	
										⑨ 調達量	⑩ 具体的仕様の主な例	⑪ 環境への配慮の内容 ⑫ 主な理由		
作業手袋 (1)	毛布(防災用を含む)	購入	1,284 枚	1,284 枚	100 %	100 %	31 枚	再生素材使用		0 枚				
		リース・レンタル(新規)	0 枚	0 枚										
		リース・レンタル(継続)	25 枚	25 枚							0 枚			
	ふとん	購入	133 枚	116 枚	88 %	88 %	2 枚	再生素材使用		17 枚	掛布団、敷布団	機能・性質上の必要性		
		リース・レンタル(新規)	6 枚	6 枚			0 枚							
		リース・レンタル(継続)	25 枚	25 枚							0 枚			
	ベッドフレーム	購入	10 台	10 台	100 %	100 %	1 台	再生素材使用		1 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台			0 台			0 台				
	マットレス	購入	22 個	22 個	100 %	100 %	1 個	再生素材使用		0 個				
		リース・レンタル(新規)	0 個	0 個			0 個			0 個				
		リース・レンタル(継続)	28 個	28 個						0 個				
	作業手袋 (1)	作業手袋(防災用を含む)	100 %	9,936 組	9,936 組	100 %	100 %	928 組	再生素材使用		0 組			
その他繊維製品 (7)	集会用テント(防災用を含む)	購入	110 台	110 台	100 %	100 %	0 台			0 台				
		リース・レンタル(新規)	2 台	2 台						0 台				
		リース・レンタル(継続)	0 台	0 台						0 台				
	ブルーシート(防災用を含む)	購入	9 枚	9 枚	100 %	100 %	3 枚	再生素材使用		0 枚				
		リース・レンタル(新規)	0 枚	0 枚			0 枚			0 枚				
		リース・レンタル(継続)	0 枚	0 枚						0 枚				
	防球ネット	100 %	0 枚	0 枚			0 枚			0 枚				
	旗	100 %	117 枚	117 枚	100 %	100 %	14 枚	長期間使用可能		0 枚				
	のぼり	100 %	68 枚	68 枚	100 %	100 %	2 枚	再生素材使用		0 枚				
	幕	100 %	31 枚	31 枚	100 %	100 %	1 枚	長期間使用可能		0 枚				
	モップ	購入	288 点	288 点	100 %	100 %	9 点	エコマークが付いているもの		0 点				
		リース・レンタル(新規)	435 点	435 点			0 点			0 点				
リース・レンタル(継続)	142 点	142 点						0 点						
設備 (6)	太陽光発電システム	72 kw	26 kw	26 kw	100 %	36 %	0 kw			0 kw				
	太陽熱利用システム	0 m ²	0 m ²	0 m ²			0 m ²			0 m ²				
	燃料電池	0 kw	0 kw	0 kw										
	生ゴミ処理機	食堂事業者が設置	0 台	0 台	0 台									
		購入	0 台	0 台	0 台									
		自ら設置	0 台	0 台	0 台									
	リース・レンタル(継続)	0 台	0 台	0 台										
	節水機器	100 %	1 個	1 個	100 %	100 %	1 個	電源不要、水栓のコマの取替が容易		0 個				
	日射調整フィルム	342 m ²	5,984.193 m ²	1,569.679 m ²	26 %	45.870 %	0 m ²			4,414.514 m ²	住友3M REBOCLIS			
	防災備蓄用品 (11) (既存品目以外の6品目)	ペットボトル飲料水	100 %	33,450 本	31,380 本	94 %	94 %	1,125 本	賞味期限5年以上		2,070 本	消費期限5年 備蓄標準期3年 500ml	容器リサイクル可能	調達できなかったため
		アルファ化米	100 %	4,090 個	4,090 個	100 %	100 %	0 個			0 個			
		乾パン	100 %	125,172 個	123,252 個	98 %	98 %	605 個	賞味期限5年以上		1,920 個	消費期限5年 1袋130g入	調達できなかったため	
缶詰		100 %	7,482 個	7,482 個	100 %	100 %	1,386 個			0 個				
レトルト食品		100 %	1,229 個	1,229 個	100 %	100 %	0 個			0 個				
非常用携帯燃料		100 %	3 個	3 個	100 %	100 %	0 個			0 個				
別途														
公共工事 (67) 役務 (16)	省エネルギー診断	49 件	11 件	11 件	100 %	22 %								
	印刷	100 %	2,275 件	2,273 件	100 %	100 %	270 件	再生素材使用		23 件	2 件	納期が短かったため、早急に印刷可能な業者を選定したため		
	食堂	生ゴミ処理機設置	8 件	1 件	1 件	100 %	75 %							
		処理委託	5 件	5 件	5 件									
	自動車専用タイヤ更生	更生タイヤ(リトレッド)	0 件	0 件	0 件									
		リグループ	0 件	0 件	0 件									
	自動車整備			847 件	847 件	98 %	98 %				15 件	通常部品	簡易包装	調達できなかったため
		部品交換を伴う整備(リユース・リビルド部品)	100 %	862 件	263 件									
		判断基準を要件として求めているもの			7 件									
		エンジン洗浄			32 件									
	庁舎管理	100 %	1,208 件	1,208 件	100 %	100 %	11 件	湿度の適正な管理		0 件				
	権限管理	100 %	94 件	94 件	100 %	100 %	2 件	使用器具は環境負担低減措置		0 件				
	清掃	100 %	1,781 件	1,781 件	100 %	100 %	195 件	環境に害を及ぼす薬剤等の使用一切禁止		6 件	適正ワックスを使用すること	競争性の確保		
	機密文書処理	100 %	135 件	135 件	100 %	100 %	5 件	紙として再利用可能		0 件				
	害虫防除	100 %	78 件	78 件	100 %	100 %	16 件	状況に応じた駆除、防除		0 件				
	輸配送	100 %	191 件	186 件	97 %	97 %	4 件	低燃費、低公害車の導入を促進		5 件		価格を優先させたため		
	旅客輸送	100 %	3 件	3 件	100 %	100 %	0 件			0 件				
	蛍光灯機能提供業務	0 件	4 件	4 件	100 %					0 件				
	庁舎等において営業を行う小売業務	11 件	9 件	9 件	100 %	82 %	0 件			0 件				
	クリーニング		100 %	149 件	149 件	100 %	100 %	14 件	環境に害を及ぼす薬剤等の使用一切禁止		0 件			
		缶・ボトル飲料自動販売機		15 台	15 台			1 台	ノンフロン冷媒使用		0 台			
		紙容器飲料自動販売機	100 %	1 台	1 台	100 %	100 %	1 台	ノンフロン冷媒使用		0 台			
		カップ式飲料自動販売機		0 台	0 台			0 台			0 台			